

PRESS RELEASE

報道関係者各位

第18回桐蔭医用工学国際シンポジウム、4年ぶりに海外招待講演者の現地参加により開催

～学生に国際学会での発表と対面での学会運営体験の機会を提供～

第18回桐蔭医用工学国際シンポジウム(18th TOIN International Symposium on Biomedical Engineering)を、2023年12月2日に桐蔭学園アカデミウムで開催しました。医用工学における異分野融合を目指し、海外からの招待講演者を迎えて活発な議論が交わされました。

4年ぶりに現地参加で海外から招待講演者を招き、コロナ禍以前と同様の規模で開催されました。第一線の研究者による基調講演は、「組織工学における血管再生」、「水産工学におけるナノテクノロジー」、「医用工学におけるAI」と多岐にわたりました。参加者は130名超となり、今年も東京工業大学、東京理科大学、東京都市大学、会津大学等から口演、ポスターともに多くの大学院生の参加をいただきました。招待講演者に現地参加いただいたことで、国際的な活躍を目指す学生への刺激となったことと思われま

す。また、今年初の試みとして組織委員会に学生委員が設けられ、本学の工学研究科修士課程1年から有志11名が参加し、企画・運営を担当しました。忙しい研究と勉学の合間を縫って真摯に取り組み、当日は全員が自分の研究発表を行いつつ分担して会場運営を行い、シンポジウムを成功させることができました。



<シンポジウム開催概要>

開催日：2023年12月2日（土）

会場：桐蔭学園アカデミウム

招待講演者：Prof. Peter S. McFetridge, University of Florida, USA

Prof. Priyabrat Swain, Central Institute of Freshwater Aquaculture Kausalyaganga, India

Prof. Xin Zhu, The University of Aizu, Japan

発表言語：英語

<https://www.isbme2023.org/> （第18回桐蔭医用工学国際シンポジウム ホームページ）

大会長：桐蔭横浜大学大学院工学研究科 教授 西村裕之

事務局：桐蔭横浜大学大学院工学研究科 医用工学専攻長・教授 吉田薫

<発表賞受賞者>

Best Oral Presentation Award（口演賞1件）

Shota Yamada (Tokyo Institute of Technology)

"Effects of cigarette smoke extracts on the expression of the G protein-coupled receptor Adgrf5 and KLF2 in mouse pulmonary endothelial cells"

Best Poster Presentation Awards（ポスター賞3件）

Kana Kinoshita (Tokyo University of Science)

"Elucidation of the follicle development control mechanism by FGF 7 (fibroblast growth factor)"

Yuuki Asahara (Tokyo University of Science)

"Elucidation of the mechanism of cell growth inhibition by intracellular transport blocker M-COPA for various lung cancer cells"

Ding Jiayi (The University of Aizu)

"Machine Learning for Prediction of Ventricular Arrhythmia Using Electronic Medical Records and Electrocardiograms"

お問い合わせ先

桐蔭横浜大学

【代表者】学長 森 朋子

【所在地】神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 番地

【事業内容】4年制大学教育機関

【公式サイト】<https://toin.ac.jp/univ/>

【本件に関するお問合せ】担当：大矢、工藤

TEL: 045-972-5881 Email: u-koho@toin.ac.jp